

褥瘡発生率

《指標の説明・定義》

褥瘡は、疼痛などにより患者の **QOL**（生活の質）の低下をきたすとともに感染を引き起こすことなど治療が長期に及ぶことによって、結果的に在院日数の長期化や医療費の増大につながります。

《計算式》

分子：調査期間における分母対象患者のうち、d2以上の褥瘡の新規院内発生患者数

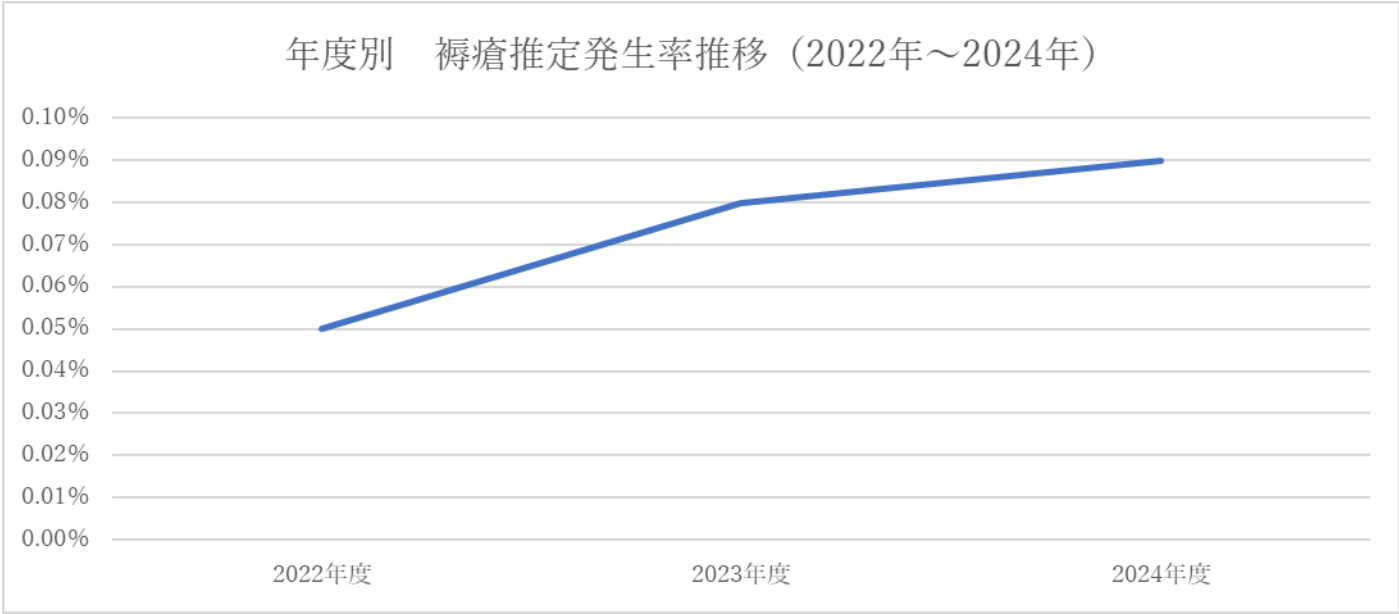
分母：入院延べ患者数

褥瘡評価用 深さ（Depth）の分類	
d0	皮膚損傷・発赤なし
d1	持続する発赤
d2	真皮までの損傷
D3	皮下組織までの損傷
D4	皮下組織を超える損傷
D5	関節腔・体腔に至る損傷
DU	深さ判定が不能の場合

《褥瘡発生率》

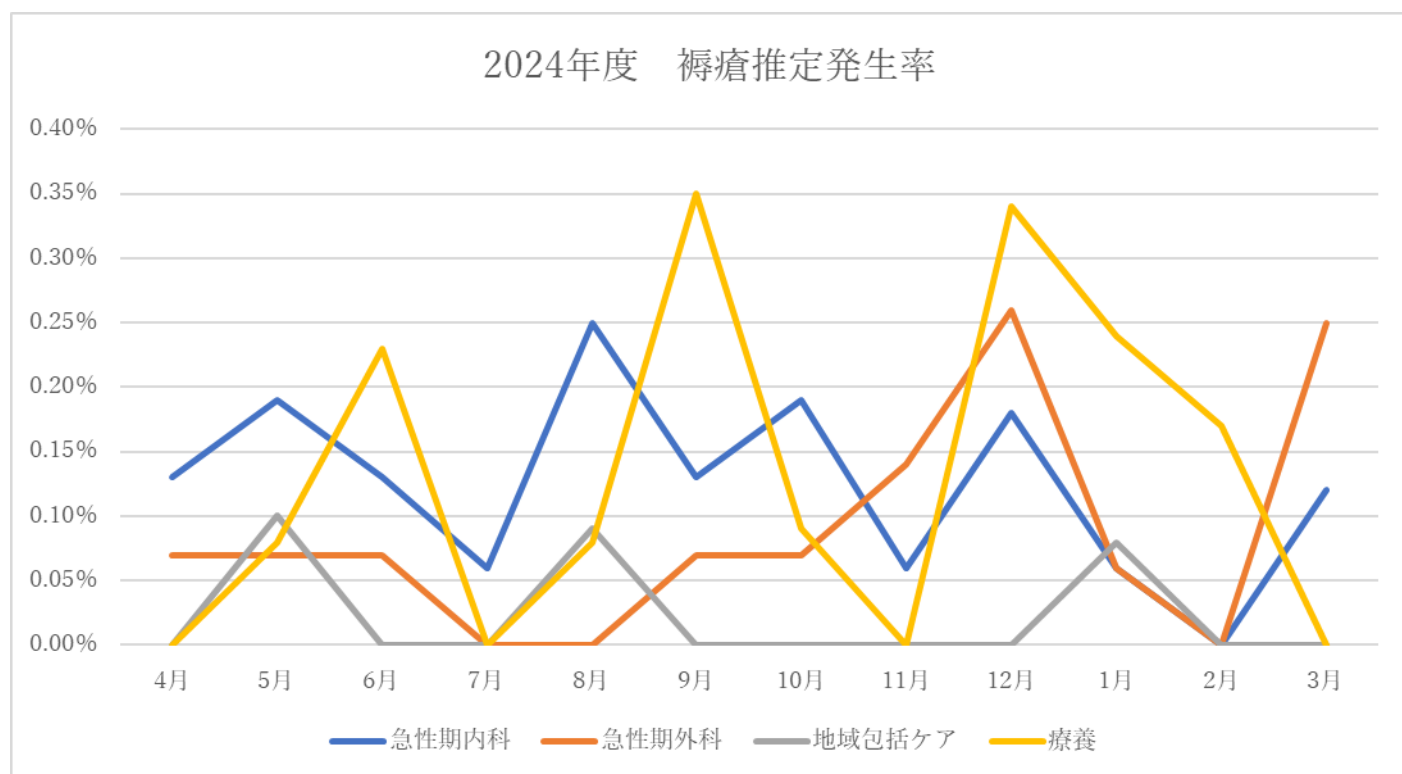
年度別 褥瘡推定発生率推移

	2022 年度	2023 年度	2024 年度
年間平均値	0.05%	0.08%	0.09%



褥瘡推定発生率（月褥瘡推定発生者数/のべ入院患者数）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	2024 年度 平均
急性期内科	0.13%	0.19%	0.13%	0.06%	0.25%	0.13%	0.19%	0.06%	0.18%	0.06%	0.00%	0.12%	0.13%
急性期外科	0.07%	0.07%	0.07%	0.00%	0.00%	0.07%	0.07%	0.14%	0.26%	0.06%	0.00%	0.25%	0.09%
地域包括ケア	0.00%	0.10%	0.00%	0.00%	0.09%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.08%	0.00%	0.00%	0.02%
療養	0.00%	0.08%	0.23%	0.00%	0.08%	0.35%	0.09%	0.00%	0.34%	0.24%	0.17%	0.00%	0.13%



2024 年度の褥瘡推定発生率は 0.09%と前年度より 0.01%発生率の増加がありました。

超高齢社会に伴い、入院患者さんは日常生活自立度の低い方や痩せており著明に骨突出がみられる方など褥瘡発生リスクを保有する方が多く見られ、病気の発症に伴い褥瘡発生リスクはさらに高まります。

患者さんが入院中褥瘡の新規発生がないよう、また褥瘡の早期発見・治癒を目指し、週 1 回の褥瘡回診や院内研修を継続していくとともに、ポジショニング・ラウンドの強化、現場教育を行っているリンクナースの研修などを行いスタッフ一人一人が標準的な褥瘡対策の知識・技術を持ち患者さんにケアが提供できるよう努めていきます。